



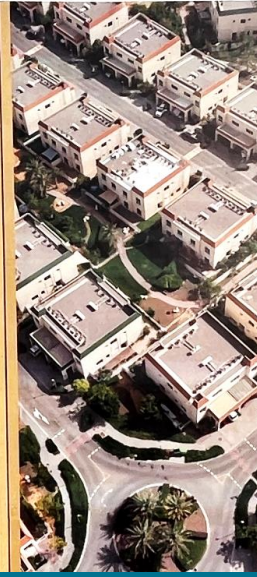
BIODIVERSITY



ENERGY



FINANCE



HUMAN SETTLEMENTS



SOLUTIONS



# COP28 非国家アクターの注目点

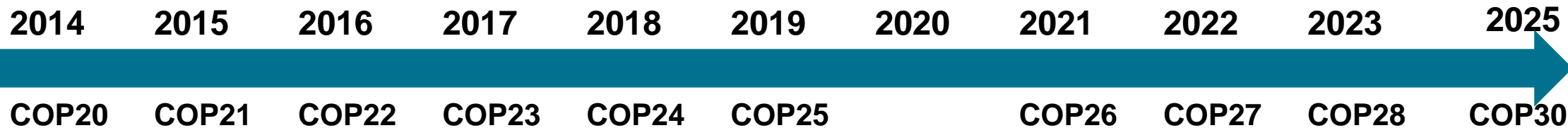
WWFジャパン  
気候・エネルギーグループ（非国家アクター連携担当）  
田中 健

2023年11月20日（月）





# COPにおける非国家アクターの関わり



リマ・パリ行動  
アジェンダ

非国家アクターの  
後押しを本格的に

COP25決定



ハイレベル気候行動チャンピオン

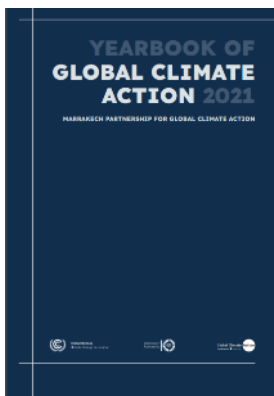
2025年まで延長

COP21決定で  
2016-2020に指名

世界的な気候行動のためのマラケシュパート  
ナーシップ

改善された世界的な気候行動のためのマ  
ラケシュパートナーシップ

ハイレベルチャンピオンによる方針



RACE TO ZERO



2 世界気候行動ポータル (NAZCA)  
: データベース

年鑑

気候野心連盟

# COP28におけるイベントのおおまかな区分（交渉外）

## ■ ブルーゾーン（COP28会場：Expo City Dubai）

交渉や各国パビリオンなどが行われる会場。入場にはUNFCCCが発行するバッジが必要。

- 議長国テーマ別プログラム / 全体スケジュール

議長国UAEが日ごとにテーマを決めて、様々なセッションを開催。その一部として、12/1～2に行われる世界気候行動サミットに合わせ、地域気候行動サミットやビジネス&慈善活動気候フォーラムが行われ、自治体首長や企業CEOらを主役とするイベントが開催される。

- Global Climate Action at COP28 (マラケシュパートナーシップ&ハイレベル気候チャンピオン)

ハイレベルチャンピオンの主導により行われる非国家アクターの気候行動にフォーカスした様々なセッションが開催。議長国テーマ別プログラムと連携し、日ごとにテーマが設定される。12/2と12/11にハイレベルイベントが開催。

## ■ グリーンゾーン（COP28会場：Expo City Dubai）

非国家アクターが様々なイベント、展示、ワークショップなどを開催するためのエリア。ブルーゾーンと隣接する。入場にバッジは不要だが、日ごとにオンライン事前登録（チケット）が必要。

## ■ テーマ・ゾーン別イベント一覧



# COP28 各日のテーマ

国家・非国家アクターによるさまざまな宣言・発表は、テーマに合わせて発表される可能性が高い


Nov 30  開会日

Dec 1  世界気候行動サミット

Dec 2  世界気候行動サミット

Dec 3  健康 / 救済、回復、平和

Dec 4  金融 / 貿易 / ジェンダー平等 / 説明責任

Dec 5  エネルギーと産業 / 公正な移行 / 先住民族

NEW

Dec 6  マルチレベルな行動, 都市化と建築環境 / 交通

Dec 7  休息日

Dec 8  若者、子供、教育とスキル

Dec 9  自然、土地利用、海洋

Dec 10  食糧、農業、水

Dec 10-11  最終交渉

### 分野横断のテーマ

- 技術とイノベーション 
- インクルージョン 
- 最前線のコミュニティ 
- 金融 

# COP28世界気候行動 – Global Climate Action

マラケシュパートナーシップとハイレベル気候チャンピオン関連のイベント全体像

イベント種別	何を	どのように	どこで
世界気候行動 ハイレベルイベント		12/2開会、12/11閉会 各1回、75-90分	プレナリー
マラケシュパートナー シップの振り返りイベ ント	非国家アクターのこれ までの進捗と行動喚起	8イベント、60-90分 ダボス形式	アクションアリーナ1-AI Hur アクションアリーナ2-AI Wakri
インプリメンテーショ ン・ラボ	特定のテーマや分野の 進捗	20イベント、60分 ラウンドテーブル	アクションルーム1-AI Shaheen アクションルーム2-AI Jeer
ハイレベルチャンピオ ン特別イベント	ハイレベルチャンピオ ンが優先するテーマと トピック	6イベント、90分 ダボス&ラウンドテーブル	アリーナ&アクションルーム



# COP28における非国家アクターの注目点

**1 ネットゼロ宣言の質の追求**

**2 地域気候行動サミット**

**3 非国家アクター連合・イニシアティブ**



# COP28における非国家アクターの注目点

**1 ネットゼロ宣言の質の追求**

2 地域気候行動サミット

3 非国家アクター連合・イニシアティブ



# COP27：非国家アクターのネットゼロ宣言のあり方が提言

COP27で、国連ハイレベル専門家グループが、非国家アクターによるネットゼロ宣言の信頼性と透明性に関する提言書を発表

1. ネットゼロ宣言
2. ネットゼロに向けた目標の設定
3. ボランタリー・クレジットの活用
4. 移行計画の策定
5. 化石燃料の段階的廃止と再生可能エネルギーの拡大
6. ロビー活動とアドボカシー活動の整合
7. 公正な移行における人と自然
8. 透明性と説明責任の向上
9. 公正な移行への投資
10. 規制導入の加速に向けて





# UNFCCC 認知と説明責任の枠組 / 実行計画草案

## 非国家アクター

提言に沿ったネット  
ゼロ宣言、移行計画、  
進捗報告



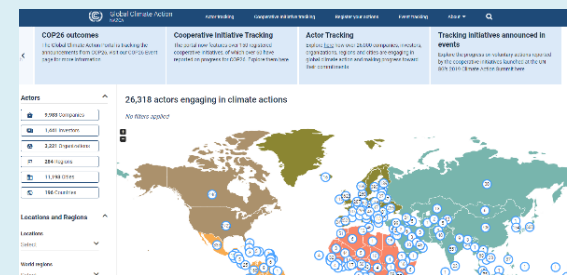
## ネットゼロ関連の 連合・イニシアティブ

ネットゼロ宣言、移  
行計画、進捗報告の  
集約



## UNFCCC

標準化されたテンプレ  
ートで世界気候行  
動ポータルにデータ  
を集約し、公開



COP28で実行計画の進捗の報告と今後の詳細が発表。グローバルストックテイクへの貢献もねらい。12/1-2の世界気候行動サミット、12/4の説明責任に関するイベントが。

# COP28 ネットゼロ移行憲章 NET-ZERO TRANSITION CHARTER

COP28議長国が、ネットゼロ宣言のあり方提言書・認知と説明責任の枠組に整合する形でネットゼロに取り組む非国家アクターを公表

**対象：**民間セクター

**署名すると：**自組織のネットゼロ宣言や目標が下記を遵守していること、あるいは遵守に約束することを証明

**誓約の概略：**

- 1.5度に整合した、科学的根拠に基づく、信頼性と透明性のある2050年ネット・ゼロ、および中期の排出削減目標を公に設定。
- COP28終了後1年以内に、信頼できるネットゼロ移行計画を作成。
- 年間の温室効果ガス排出量と、ネット・ゼロ誓約および移行計画の進捗状況を、UNFCCC Global Climate Action Portalを含む質の高いプラットフォームを通じて、公表する。
- 排出量データおよび削減経路を報告。

**国連によるインテグリティ担保の動きにどういったアクターが  
先導するか、日本からの署名があるかに注目。12/4発表か？**



# COP28における非国家アクターの注目点

1 ネットゼロ宣言の質の追求

**2 地域気候行動サミット**

3 非国家アクター連合・イニシアティブ

# COP28 地域気候行動サミット (12/1-2)

地域のリーダーたちを集めて行われる初めてのCOP公式サミット



12/6の都市の日に行われる議論へのインプット  
グローバルストックテイクへの貢献もねらい

- 1 地域の気候金融の変革
- 2 地域貢献を集約して世界の行動を強化
- 3 地域のエネルギー移行の迅速な推進
- 4 地域のレジリエンスと適応の強化





NEW

# 高い野心のマルチレベルパートナーシップ連合 Coalition for High Ambition Multilevel Partnerships (CHAMP)

## 地域気候行動サミットで各国政府（と自治体?）による新しい誓約が発表

- COP28議長から各国のリーダーたちに賛同を呼びかけ (参照：[各国へのレター](#))
- 各国政府と自治体が、気候戦略を計画し、投資し、実行していくにあたって連携することを約束する。
- グローバルストックテイクの結果を踏まえながら、各国政府が2025年までのNDC作成・提出のプロセスにおいて、自治体としっかり連携しながら進めていくことを誓約するものとなる可能性がある（推測）。

**2025年に向けたNDC改訂のプロセスに自治体の知見や声が反映されるきっかけとなるか、日本が賛同するか**に注目。

参照：[LETTER TO PARTIES II](#)  
(クリックするとPDFがダウンロードされます)



# COP28における非国家アクターの注目点

1 ネットゼロ宣言の質の追求

2 地域気候行動サミット

**3 非国家アクター連合・イニシアティブ**



# レース・トゥ・ゼロ: 1.5°C目標を目指す非国家アクターを集結

5つのPに約束した11,000以上の非国家アクターが参加。COP28でも注目。

**Pledge** / 誓約する

2030半減、2050年ゼロ

**Plan** / 計画する

2030年までの移行計画

**Proceed** / 進める

すぐに行動

**Publish** / 公開する

年一回の公開報告

**Persuade** / 説得する

対外方針等を目標に整合

**RACE TO ZERO**



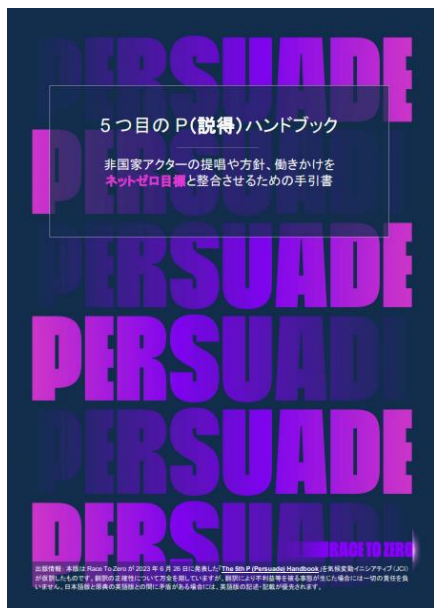


# 5番目のP：アドボカシーや方針をネットゼロ目標と整合させる

COP28では、より多くのリーダー企業や自治体などから政策提言が出ることを期待。

## Persuade / 説得する

組織の対外的な提唱・方針・働きかけを、自身のネットゼロ目標と整合させる



レジリエントな地球規模のネットゼロ社会への公正な移行を達成するには、それに沿った支えとなる方針および規制環境をつくる必要があります。

公正な移行の必要性や国による事情の違いを考慮に入れた、野心的でレジリエントなネットゼロ対策および規制を積極的に支持し求めることは、気候変動に真摯に取り組もうという姿勢の表れです。

非国家アクターが**手本を示す**ことができます。

**国連気候変動ハイレベルチャンピオンはすべての非国家アクターに次のことを求めます**

**Race to Zero に参加してください**  
(もしまだ参加していないなら)、そして**誓約、計画、資金、公開、監視**という5つのPの枠組みを**実行**してください。Race to Zero パートナー——[一覧表はこちら](#)。

この「行動喚起」は、HLEG 投資家、AAA 神威、RPE 神威を基に作成され、以下の後援を得ています。

Environmental Defense Fund, IM InfluenceMap, WE MEAN BUSINESS COALITION, Ceres

あなたも後援者になってこのロゴを表示できます。

**自社の提唱、方針、働きかけをネットゼロ目標と整合させてください：**

<b>コミットする</b>	<b>提唱する</b>	<b>整合する</b>	<b>支出を割り当てる</b>	<b>開示する</b>	<b>対策を練る</b>
ガバナンス、提唱、働きかけ、対策を、特にクライアントエンゲージメント（気候移行）計画を通して、ネットゼロへの公正な移行と整合させます。	対外的なネットゼロ政策や規制について、水平的（例：企業から企業へ）、または垂直的（例：投資家から政府へ、市、州または地域から政府へ）に提言します。	所属する業界などの団体を、その活動に影響を及ぼしたり、提議の手段としてはメンバーを賣りたりして、ネットゼロの主張と整合させます。	ネットゼロ対策や働きかけを進める（助けるのではなく）ために予算を充てます。	公正な移行という観点で、ネットゼロ目標に対する提議、方針、働きかけを自分たちがどのくらいに整合させているか、少なくとも年1回公表します。	公正な移行の原則を含め、他の非国家アクター（準国家政府など）が気候変動に対して行動を起こすことを可能にする、またその動機付けとなるような対策を講じます。

**CALL TO ACTION**

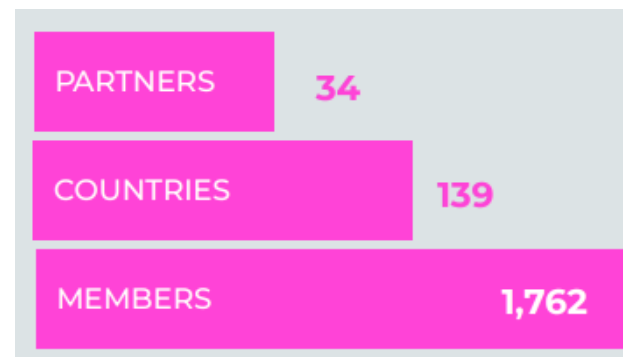




NEW

# レース・トゥ・レジリエンス: 2030年までに40億人のレジリエンスを高める

2030年までに、気候リスクに対して脆弱なグループやコミュニティに属する40億人の人々のレジリエンスを高めるため、非国家アクターの適応対策を促進することを目標とするキャンペーン。Race To Zeroの兄弟キャンペーンとして2021年1月に発足。



誓約する / Pledge : キャンペーン目標に貢献を約束

計画する / Plan : 中間目標・マイルストーンを含む行動計画

進める / Proceed : すぐに行動

公開する / Publish : 年一回の公開報告





NEW

## シャルム・エル・シェイク適応アジェンダ

2030年までに最も気候に脆弱なコミュニティに住む40億人のレジリエンスを強化するために達成すべき30の適応成果目標をまとめたもの。

COP27議長が立ち上げを発表し、ハイレベルチャンピオンとの連携のもとで国、地域、都市、企業、投資家、市民社会に向けて行動を呼びかけ。

以下の7分野、合計30の適応成果目標がある。

1. 食糧安全保障と農業システム
2. 水と自然システム
3. 人間居住システム
4. 海洋と沿岸システム
5. インフラシステム
6. 分野横断：計画
7. 分野横断：資金

# Sharm-El-Sheikh Adaptation Agenda

The global transformations towards  
adaptive and resilient development

出典：the [Sharm-El-Sheikh Adaptation Agenda](#)

12/3に2025年に進捗と今後に向けたレジリエンス強化のあり方を議論するイベントが開催

# 7つの分野と30の適応成果の一部抜粋

<b>1. 食糧安全保障と農業</b>	気候変動に強い持続可能な農業の実現によって、農地を拡大することなく、収量を17%増加させ、農場における温室効果ガス（GHG）排出量を21%削減する。
<b>2. 水資源と自然</b>	4,500 万ヘクタールの土地及び内陸水域の保護、20 億ヘクタールの土地の持続可能な管理、3 億 5000 万ヘクタールの土地の回復を行い、自然を基盤とした解決策（Nature-Based Solutions, NBS）を用いて、先住民と地域コミュニティを合法的に保護し、水の安全性と生活を向上させる。
<b>3. 人間の居住環境</b>	10 億人がより適切で安全な住宅に居住できるよう、より良い設計や建設、金融システムへのアクセス向上を実施する。
<b>4. 海洋・沿岸域</b>	マングローブの損失を止め、最近の損失の半分を回復し、保護を倍増させ、長期的に持続可能な資金を確保し、世界の 1,500 万ヘクタールのマングローブのために 40 億米ドルを投資する。
<b>5. インフラ</b>	6 億 7,900 万人の電源無接続者による安価な電力へのアクセスと、10 億人の十分なサービスを受けていない人々による質の高い電力へのアクセスを可能とするため、多様なエネルギー生成源を確保し、気候変動に強いエネルギーシステムを構築する。
<b>6. 横断的取組：計画</b>	10,000 の都市および 100 の地方自治体が、科学的根拠に基づく実行可能な気候変動への適応計画を策定する。
<b>7. 横断的取組：資金調達</b>	民間セクターは、物理的な気候変動リスクを投資判断に組み込み、適応と回復のための資金調達メカニズムを継続的に革新し、公共と民間の両方で必要とされる 1,400 億ドルから 3,000 億ドルを動員可能とさせる。

# 世界の医療・保健コミュニティからCOP28議長へ公開レター

## 医療・保健従事者4630万人に相当する関係機関が化石燃料の段階的廃止を呼びかけ（10/31）

COP28 Open Letter on fossil fuels from the Global Medical and Health Community

Dear COP 28 President-Designate Sultan Ahmed Al-Jaber,

- COP28議長と各国リーダーたちに、公正で平等な化石燃料段階的廃止と再エネへの投資の加速を求める。
- 日本からは、Green Practiceと日本医療政策機構が賛同

This year, world leaders gathering in the UAE to take stock of their climate commitments will for the first time engage in official programming focused on health. We, the signatories of this letter, support your leadership in bringing health front and center at COP28.

As global health leaders, we are committed to achieving health and well-being for all – this is not possible without a safe and stable climate. The Paris Agreement enshrined the “right to health” as a core obligation for climate action. Yet, communities, health workers and health systems around the world already face the alarming impacts of a changing climate. Climate change-induced extreme weather events are becoming more frequent and severe – many countries are grappling with the health consequences of extreme heat, unprecedented storms, floods, food and water insecurity, wildfires and displacement. For COP28 to truly be a “health COP,” it must address the root cause of the climate crisis: the continued extraction and use of fossil fuels including coal, oil and gas. **We call on the COP28 Presidency and the leaders of all countries to commit to an accelerated, just and equitable phase-out of fossil fuels as the decisive path to health for all.**

出典：[The Global Climate & Health Alliance オープンレターの公開ページ](#)



# 気候と健康に関する宣言: Declaration on Climate and Health

## 各国政府に宣言への賛同を呼びかけ (10/17)

- 10/17にベルリンで開催された世界保健サミットにおいて、COP28議長から各国のリーダーたちに宣言の賛同を呼びかけ (参照: [各国へのレター](#))
- 保健セクターの排出削減、保健分野への適応策に資する気候ファイナンスの増加が含まれる。しかし、化石燃料の段階的廃止・削減にはふれていない。
- COP初の健康の日 (12/3) に最終宣言が賛同国とともに発表予定
- 同日、COP28議長国とWHO、宣言を支持する国々により、気候-保健閣僚会合が開かれる予定

**どれだけ具体的な合意につながる結果が得られるかに注目。**

参照: [LETTER TO PARTIES II](#)  
(クリックするとPDFがダウンロードされます)



# 脱化石燃料に関するビジネス主体のキャンペーンがスタート

## The Fossil to Clean キャンペーン

ビジネスセクターから、政府や投資家、エネルギーサプライヤーに対して化石燃料フェーズアウトとクリーンエネルギーの供給加速を求めるマーケットシグナルを送る。

- 1 キャンペーン原則に沿って、脱化石燃料に向けた行動を起こす
- 2 We Mean Business Coalitionと協働し、企業の取組や課題を広く共有
- 3 国際・国内の合意や政策を求めるアドボカシー活動に参画



Campaign partners

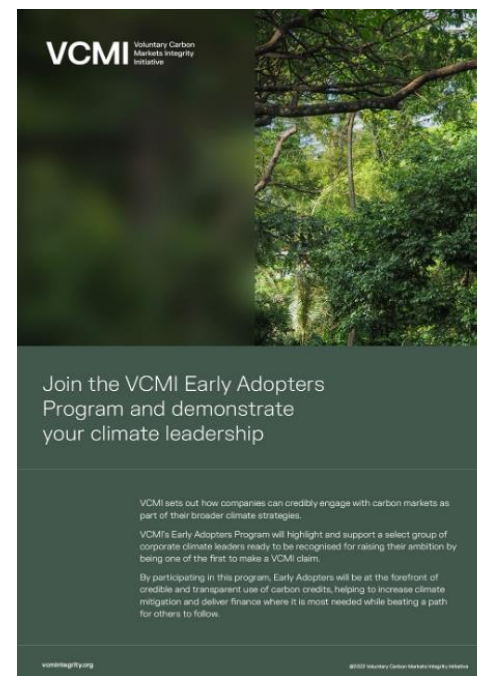
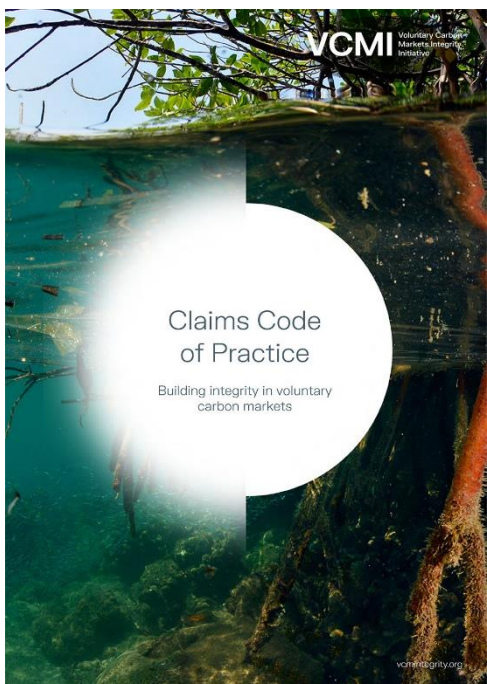


COP28でビジネスリーダーからどのようなメッセージが発せられるか、注目。

# VCMI : 自主的炭素市場クレームコードの追加ガイダンス

2023年6月に発表されたクレジット需要側ガイダンスの追加ガイダンスを  
**COP28直前の11月28日に発表予定。**

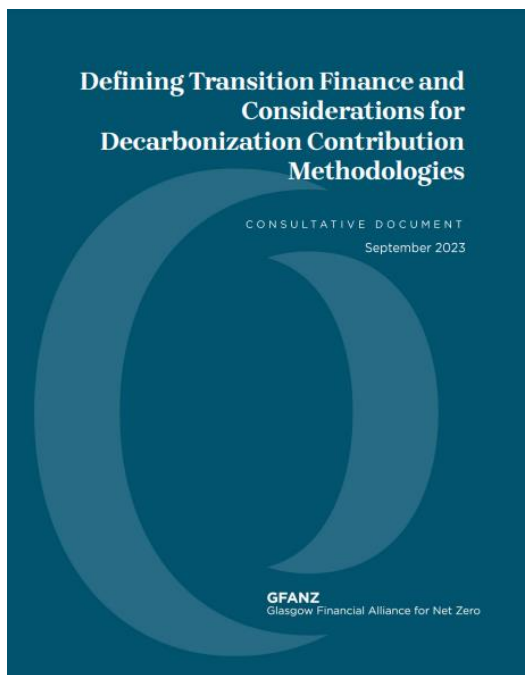
VCMI Early Adopters Program:  
VCMIに基づく主張をしたい企業のための  
支援プログラム。**COP28での露出支援も。**





# GFANZ : ネットゼロのためのグラスゴー金融同盟

2023年9月に発表された「トランジションファイナンスの定義と脱炭素に貢献する手法の検討」のコンサルテーションを経た**アップデートをCOP28で発表か**



2023年9月のクライメート・ウィークでCOP28議長国、GFANZ、自主的炭素市場イニシアティブ（VCMCI）が、VCMCIのクレームコードのもとでネットゼロ主張することを企業に呼びかけ。**12/4に自主炭素市場をテーマとしたイベントが予定**





NEW

# ゼロエミッション自動車宣言 The Zero Emission Vehicles Declaration

## COP26 : 100以上の国 + 非国家アクターの署名とともに発表

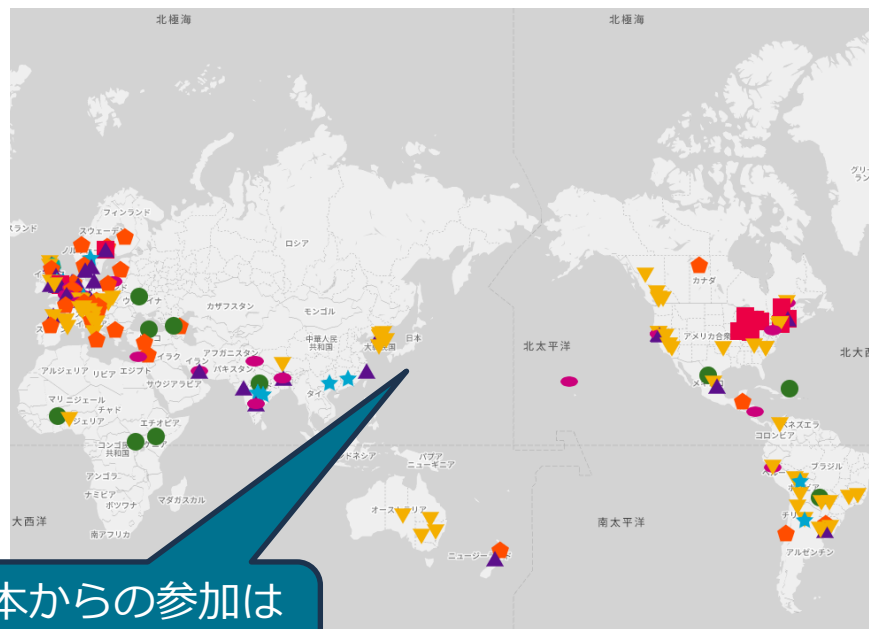
「世界中で2040年までに、主要市場においては遅くとも2035年までに、販売されるすべての新車（乗用車およびバン）のゼロエミッション化に向けて協力して取り組みます。」

## COP27 : A2Z Coalitionが設立



## COP28 : 新しい署名者を発表

[12/5 18:30-20:00 \(COP会場内\)](#)



日本からの参加は  
いまのところない

View Map Key and Filters

Total Signatories: 228

View All Signatory Groups

National governments (30)

Governments in Emerging Markets and Developing Economies (11)

Cities, states and regional governments (78)

Automotive manufacturers (14)

Fleets (46)

Investors (15)

Financial institutions (2)

Other signatories (32)

出典 : [Accelerating To Zero Coalition 署名団体ページ](#)



## 日本の非国家アクター

### 気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative: JCI)

パリ協定が掲げる脱炭素社会の実現に向け、気候変動対策に積極的に取り組む企業、自治体、NGOなどの非国家アクター792団体が参加する国内ネットワーク



12/5 (火) 13時  
ジャパン・パビリオンでセミナー開催

登壇予定：富士通株式会社、ニッセイアセット  
マネジメント株式会社、自然エネルギー財団、  
東京都環境局、Ingka Group IKEA、Race To  
Zero、WWFジャパン



# 世界の非国家アクターイニシアティブ

## 気候行動連盟 (Alliances for Climate Action: ACA)

非国家アクターイニシアティブの国際連盟。日本のJCIを含む11か国が参加。



12/5 (火) 14時30分~18時30分  
WWFパビリオンでセミナーを3本開催予定

- UAEのイニシアティブも。
- 新たな国から非国家アクターイニシアティブの立上げを発表予定

AMERICA IS  
ALL IN



Alianza para la  
Acción  
Climática  
Argentina



JAPAN  
CLIMATE  
INITIATIVE

ACA  
ALIANZA PARA LA  
ACCION CLIMÁTICA



ACA  
BRASIL

Aliança pela  
Ação Climática



UACA  
UAE Alliance for Climate Action

ALLIANCES FOR  
CLIMATE  
ACTION  
SOUTH AFRICA



ご清聴ありがとうございました

---

これからもご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます